

生活のきまり

～ 基本的な考え方 ～

- 子どもたちが協同の精神、規範意識等、社会に参画するための知識、態度を養う。
- 子どもたちが健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養う。
- 子どもたちが将来の進路を選択する能力を養う。

※ 式典や行事、集会等の時は、TPO に応じた服装を心がける

- カッターシャツ、ポロシャツ、ブラウスを着用すること。
- 上着（広徳中型、スタンダード型）を着用すること。（体操服 カーディガン不可）

○ 頭髪・・・学習や運動にさしつかえのない髪型を心がける

- 留意点
- ・整髪料を使って髪を立てることはしない。
 - ・染色・脱色はしない。
 - ・前髪が目にかかった場合は、黒を基調とした色のヘアピンを使う。
 - ・髪が肩にかかる場合は黒を基調とした色のゴムで結ぶ。
 - ・髪を結ぶ場所は、後頭部で眉の高さまでとする。

○ 靴・・・通学用の靴は、ひも靴または、マジックテープの靴で運動に適したもの (ハイカット ・ ブーツ は履かない)

○ 靴下・・・白色または黒色の単色で模様は、2ポイント2ラインまで可。 (長さはひざ下まで)

○ 上靴・・・学校指定のもの。色は、赤、青、緑から各学年で指定（学年カラー）

○ ベルト・・・①スラックス、ズボンをはく場合は、黒を基調とした色のものを着用する。 ②広徳中型標準服のA型を履く場合は付属のベルトを着用

○ かばん・・・学校指定のスリーウェイバッグ、サブバック

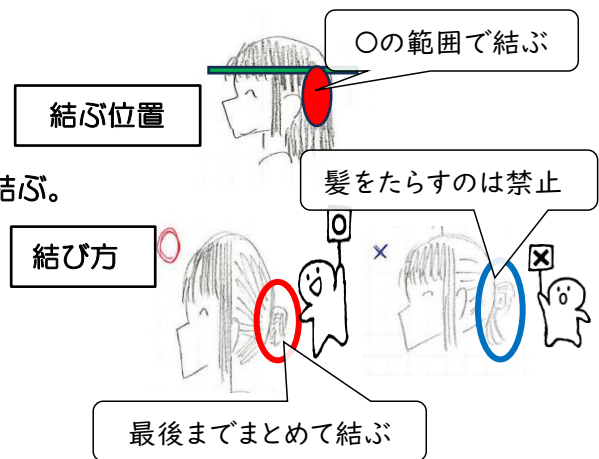
○ 装飾品・・・装飾品はつけない（指輪・ネックレス・ピアス・ブレスレットなど）

○ 頭髪の補足 (R5 生徒会との協議で決定)

① 「お団子」について

(1) 後頭部で高さは、眉毛程度の高さまでで結ぶ。

(2) お団子を作るときは、最後までまとめる。

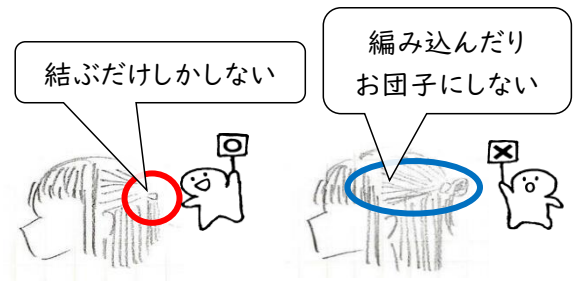


② 「ハーフアップ」について

(1) 髪の長さが肩にかからない人限定で許可 (髪が長い人は、一つに結ぶルールがあるため)

(2) 結びかた

- 中心で一つ結びのみ (アレンジは禁止)
- 後頭部で高さは、眉毛程度の高さまでで結ぶ。



広徳中学校現行標準服

冬服

・プラスチックの名札を
付けます。
(在校生やお下がりは、
縫い付け名札も可)

A

・リボンを着用する

・スカートの長さはひざ
がかくれる程度。



B

・ボタンはきちんと
とめます。

・プラスチックの名札を
付けます。
(在校生やお下がりは、
縫い付け名札も可)

・ズボンの長さは
くるぶしがかくれる程度。



・ハイネックの服は、着用しないようにする。

- ・広徳中現行標準服とスタンダード標準服のクロスの着用はしない。(例：上がセーラー服で下がスラックスなど)
- ・学校指定の標準服を着用します。
- ・変形学生服は着用しない。

夏服

・ポロシャツは胸ポケットのある白色
で無地のものを着用する。ボタンは
第1ボタンのみ外すのは可

A

・プラスチックの名札を
付けます。
(在校生やお下がりは、
縫い付け名札も可)

・スカートの長さはひざ
がかくれる程度。

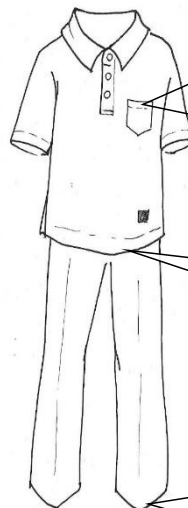


B

・プラスチックの名札を
付けます。
(在校生やお下がりは、
縫い付け名札も可)

・アンダーウェア
はズボンの中に
入れる。

・ズボンの長さは
くるぶしがかくれる程度。



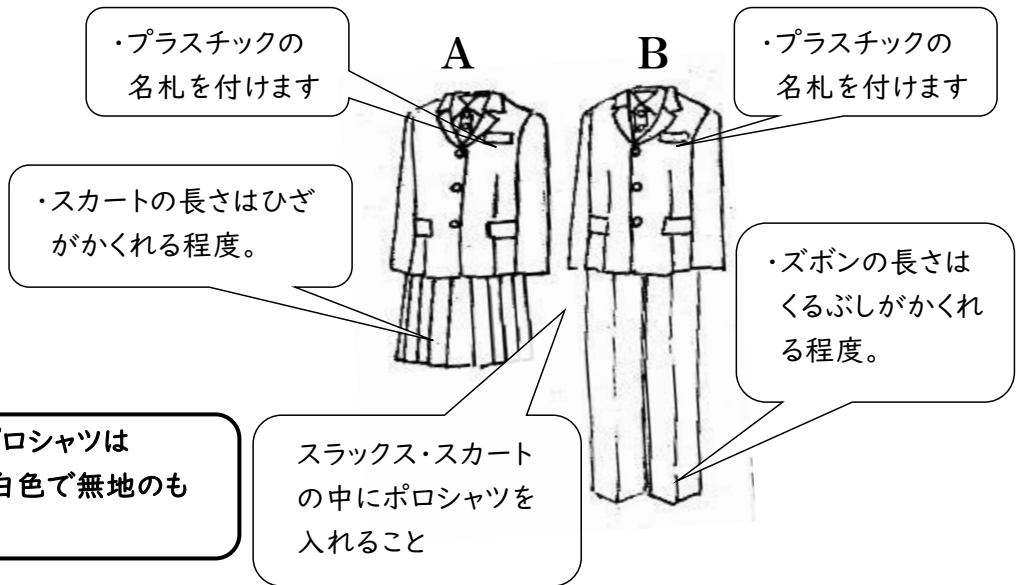
・アンダーウェアは**無地**で白色又は黒色のものを着用すること。胸元ワンポイントは可。

※在校生やお下がりを使用する場合

- ・Aは学校指定のブラウス可、ジャンパースカート、名札は刺繍でも可。
- ・Bは学校指定のカッターシャツ可、標準ズボン、名札は刺繍でも可。
- ・ブラウスを着用する場合は、第一ボタンまでとめること

北九州市中学校スタンダード標準服

冬服



- ・ハイネックの服は着用しないようにする。
- ・広徳中現行標準服とスタンダード標準服のクロスの着用はしない。
(例：上がセーラー服で下がスラックスなど)

夏服



- ・Aはパロシャツ、スカート、名札は左胸にプラスチックの名札を付ける。
- ・Bはパロシャツ、スラックス、名札は左胸にプラスチックの名札を付ける。
- ・アンダーウェアは無地で白色又は黒色のものを着用すること。胸元ワンポイントは可。